

A. 主な動き

1. 内政

・10日、ヴォローニン共産党党首は、同党は欧州統合路線を継続するとともに関税同盟への加入を目指すとし、同加入の是非を問う国民投票を11月18日に実施する提案を議会に行う意向である旨発言。

2. 経済

▼対モルドバ支援

・10日、ネグルツァ財務相は、モルドバ経済の競争力強化を目的として、世界銀行から3,000万ドルの融資を受ける予定である、同資金は、投資環境改善に向けた取り組み、中小企業の製品の品質向上、輸出機会の向上、現代的な経営管理システムの実施等に使用される旨発言。

▼エネルギー分野でのロシアとの協力

・11日、政府は、エネルギー分野におけるロシアとの協力交渉開始に関する決議を承認。フィラト首相は、協力合意は、天然ガスの供給・トランジット、電力の生産・輸出、再生可能エネルギー分野での協力、沿ドニエストル地域における35億ドルの輸入ガス債務問題が含まれる旨発言。

3. 外交

▼フィラト首相の訪露(10日～12日)

・10日、フィラト首相は、モスクワにおいてナリシユキン国家院議長と会談し、2国間関係に関し広範に協議。ナリシユキン議長は、CIS自由貿易協定のモルドバ政府による承認(8月29日)を歓迎し、社会経済協力政府間委員会の活動の活発化の必要性を強調。フィラト首相は、両国間対話の活性化及び政治、経済及び人文・文化等の分野におけるパートナーシップの深化を提唱し、モルドバはロシアからの投資誘致に関心がある旨発言。

・11日、フィラト首相は、メドベージェフ首相との会談において、貿易、投資、農業、エネルギー、食品、情報技術分野における協力、特にモルドバ産ワインのロシアへの供給及びガス供給に関する契約の締結等の二国間関係の喫緊の課題に関し協議。メドベージェフ首相は、沿ドニエストル問題に関し、ロシアはモルドバの主権及び領土一体性を尊重する立場を表明し、ロシアは関税同盟の拡大に関心があるが参加の強制は行わない旨発言。

・12日、フィラト首相は、ソチを訪問し、プーチン大統領と会談。プーチン大統領は、両国の貿易額は増加し、20億ドルに達した旨、及び、ロシアの投資家はモルドバの民営化計画の進展状況に関心がある旨指摘し、民営化は両国貿易経済関係のみならず、モルドバ経済にとっても有益であろう旨発言。フィラト首相は、両国間の政治対話が継続されている

旨高く評価し、両国の経済及び政治のみならず文化関係における肯定的動向がみられる旨指摘。フィラト首相は、民営化のみならず、エネルギー、運輸及びインフラ分野におけるロシアからの投資にも関心がある旨発言。

▼ルブ議会議長のハンガリー訪問(9日～11日)

・10日、ルブ議会議長は、ハンガリーを訪問し、アーデル大統領と会談。アーデル大統領は、両国関係は模範的である旨、及び、ハンガリーはモルドバの欧州統合志向を支持する旨発言。ルブ議長は、支持に対し謝意を表明し、両者は、二国間の協力関係の強化及び拡大に関し協議。また、同日、ルブ議長は、クヴェール・ハンガリー国会議長と会談の上、モルドバ議会・ハンガリー国会間協力及び戦略的パートナーシップに関する新協定に署名。

・11日、ルブ議長は、オルバーン首相との会談において、両国貿易経済関係の強化及びモルドバ・ハンガリー貿易経済発展合同委員会の開催の必要性に言及。また、同日、同議長は、マルトニ外相と会談。マルトニ外相は、両国間政治対話の良好な傾向を指摘し、ハンガリーはモルドバの民主的改革及び欧州統合路線を支持する旨発言。ルブ議長は、モルドバは改革推進にあらゆる措置を講じている旨述べ、在キシナウ・ハンガリー大使館内への欧州15カ国の統一ビザ・センター開設に謝意を表明。

▼コルラツェアン・ルーマニア外相の来訪

・13日、ティモフティ大統領は、来訪したコルラツェアン・ルーマニア外相との会談において一部の政治勢力による障害はあるものの両国関係は友好的である旨高く評価。コルラツェアン外相は、ルーマニアは政権の交代とは関係なくモルドバの欧州統合を支持する立場である旨表明し、相互送電システム計画及びヤシ・ウングニ間パイプライン建設等の両国共同計画はルーマニアの優先課題である旨発言。また、フィラト首相は、コルラツェアン外相と会談し、経済、エネルギー、教育及びモルドバの欧州統合等の分野における二国間協力及びその拡大の展望に関し協議。

・同日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、コルラツェアン外相と会談の後、シリアに滞在するモルドバ国民の保護を目的とした領事支援供与に関する協力協定に署名。また、ルブ議会議長は、コルラツェアン外相との会談において両国議会間協力の活発化に関し協議し、欧州統合に関する合同委員会第2回会合の開催の必要性、及び、モルドバ・ルーマニア国境協定が今秋冬会期にモルドバ議会で批准される見込みに関し言及。コルラツェアン外相は、ルーマニアはモルドバの欧州統合及び国内改革過程を支持する旨発

言。

▼その他

・14日、フィラト首相は、バローゾ欧州委員会委員長と電話会談し、モルドバ・EU関係の発展及びモルドバの欧州統合に向けた改革の実施状況等に関し意見交換。バローゾ委員長は、2013年9月の東方パートナーシップ・サミットまでにモルドバ・EU連合協定の署名は実現可能である旨発言。

4. 沿ドニエストル

▼「5+2」者公式会合の開催

・12、13両日、ウィーンのオーストリア外務省において本年4回目の「5+2」者公式会合が開催され、フォーレ・アイルランド OSCE 議長国沿ドニエストル問題担当特別代表が議長を務め、当事者であるモルドバからカルポフ国家再統合問題担当副首相が、沿ドニエストルからシュタンスキ「外相」が出席。会合参加者は、人の自由な移動、旅客列車の運行等

の議題の協議を継続し、沿ドニエストル地域の卒業証書をモルドバが認定することで合意。フォーレ議長は、人権問題に関する交渉の強化、及び、市民団体及びマスメディアとの対話のための共同フォーラムの設置に関する合意を歓迎する旨の声明を発表。次回会合は11月末にダブリンにおいて開催予定。

5. 防衛

・10日、マリヌツァ国防相は、中国を公式訪問、国際安全保障及び地域安全保障について議論予定。

・13日、マリヌツァ国防相は、梁光烈・中国国防部長と会談、モルドバが中国から1,500万レイの援助を受ける協定に署名、またモルドバ軍は中国軍との友好と協力関係の発展を重視しており、中国による支援に非常に感謝している旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)